

平成 25 年 度

主 要 な 施 策 の 成 果 説 明 書

中 央 区

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定  
に基づき、平成25年度における主要な施策の成果説明書を  
提出します。

平成26年9月19日

中央区長 矢田 美英

## 主要な施策の成果について

本区の人口は平成10年以降増加を続けており、平成25年の1年間では3,982人の増となりました。特に30歳代から40歳代の子育て世代が人口構成の中心となり、出生数も年間1,694人を数えるなど、乳幼児人口も増加が続いています。

こうした人口増を背景とした本区のにぎわいを着実に定着させ、将来に向けて発展し続けるまちを築いていくためには、子育て支援の充実や高齢者施策の一層の強化が求められるとともに、「商工業のまち中央区」の活力の源である区内中小企業への支援、都心である本区の特徴を踏まえた防災対策、待ったなしの地球温暖化対策など、多様な行政課題への的確な対応が求められています。

このような状況の下、時代とともに変化していく区民ニーズに的確に応えていくため、本区では昨年2月に「基本計画2013」を策定しました。平成25年度はそのスタートとして「10年後の中央区」を見据えた各種施策の強化・充実を図り、特に首都直下地震等に備えた総合的な地域防災力の向上、仕事と子育ての両立に向けた保育施設の整備、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるための在宅介護等の充実や「70歳就労社会」の実現に向けた各種施策の展開、環境問題に対する都心区ならではの普及・啓発活動、都心からにぎわい創出を図るための商店街活性化や都市観光の推進などに重点的に取り組みました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

## 平成25年度 主要な施策一覧

事 業		新規	決算額 (千円)	頁	
1 思いやりのある 安心できるま ちをめざして	○生涯をいきい きと暮らすた めに	* 保健医療	(1) 母子保健指導	7,762	6
			(2) がん検診	448,600	6
			(3) 歯科健康診査	63,226	6
			(4) 自殺総合対策推進事業	1,530	7
			(5) 先天性風しん症候群緊急対策風しん予防接種費用助成	22,260	7
	* 障害者福祉	(1) 放課後等デイサービスの実施	28,163	8	
		(2) 障害者就労支援モザイク平板の設置	3,030	8	
		(3) 精神障害者地域活動支援センターの整備・開設	21,350	8	
		(4) 障害のある方の住宅への家具類転倒防止器具の取付	298	9	
		(5) 障害者ヘルプカードの作成	2,070	9	
	* 高齢者福祉	(1) 高齢者合同就職面接会	74	9	
		(2) 「見守りキーホルダー」登録システム	628	9	
		(3) 高齢者健康づくり事業	32,677	10	
		(4) 敬老大会	80,926	10	
		(5) 高齢者雇用促進奨励金	1,590	11	
		(6) 地域見守り事業支援	1,272	11	
		(7) 高齢者食事サービス	20,801	12	
		(8) 地域密着型特別養護老人ホーム等「ケアサポートセンターつきしま」の整備	1,466,651	12	
		(9) 地域密着型特別養護老人ホーム等「ケアサポートセンター十思」等の整備	600,992	12	
		(10) 在宅療養支援	19,177	13	
		(11) 敬老買物券等の贈呈	38,833	13	
		(12) ミドルステイ・緊急ショートステイ	17,543	14	
		(13) 巡回型ホームヘルプサービス	68,883	14	
		(14) 高齢者生活援助サービス	14,706	14	
		(15) 高齢者の住宅への家具類転倒防止器具の取付	2,473	15	
		(16) 元気高齢者人材バンク	2,013	15	
	* 生活衛生	(1) 負傷猫の治療費助成	87	15	
	○健やかな子どもを育むために	* 子育て支援	(1) 出産支援事業	95,057	16
			(2) 新川児童館の改築	167,500	16
			(3) 子どもの居場所「プレディ」等	211,030	16
			(4) 「中央区子ども・子育て支援事業計画(仮称)」の策定	3,872	16
			(5) 京橋こども園の整備・開設	1,392,184	17
			(6) 認可外保育施設保育料の助成	208,323	17
(7) 子ども医療費助成			506,610	17	
(8) 保育従事職員等の処遇改善			28,560	18	
(9) 新設私立認可保育所への開設準備経費補助			672,863	18	
○思いやりとふれあいのあるまちのために	* 男女共同参画	(1) 男女共同参画講座等の充実	2,688	19	
		(2) ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定	3,629	19	

## 平成25年度 主要な施策一覧

事業			新規	決算額 (千円)	頁	
2 うるおいのある 安全で快適な まちをめざして	○ 住みやすい 環境づくり	* 住宅・住環境	(1) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導		33,604	20
			* 公園・緑地・ 水辺	(1) 水生生物調査の実施		2,394
		(2) 民間施設の緑化助成			10,329	20
		(3) 水の都プロジェクトの推進			92,426	21
		(4) 日本橋船着場の整備			95,108	21
		(5) 街路樹の整備		10,863	22	
	(6) 公園・児童遊園の改修		151,577	22		
	○ 地球にやさし い環境づくり	* 環境保全	(1) 環境情報センターの開設	新規	54,936	24
			(2) 中央区の森		15,710	24
			(3) 低公害車の普及促進		2,845	24
			(4) 区施設の設備運用改善による省エネルギーの 取組	新規	2,970	25
			(5) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器等導 入費助成		23,479	25
			(6) 街路灯のLED化		49,442	25
			(7) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備		2,394	25
			(8) 地域クリーンパトロールの展開		38,832	26
	* 循環型社会	(1) リサイクル事業の普及・啓発		1,881	26	
		(2) 土のリサイクル		2,323	26	
		(3) 資源持ち去り防止対策		5,397	27	
		(4) 資源再利用(リサイクル)の推進		504,823	27	
	○ 都心にふさわ しい都市の基 盤づくり	* 道路・交通	(1) 橋りょうの健全度調査		17,809	28
			(2) 橋りょう長寿命化修繕工事		150,129	28
			(3) 昭和通り銀座歩道橋昇降機の改修		4,725	28
			(4) 橋りょうの架替		503,510	29
			(5) 環境にやさしい道路の整備		92,207	29
			(6) 電線共同溝の整備		203,242	30
			(7) 小田原橋の撤去		80,290	30
			(8) 人にやさしい歩行環境の整備		108,416	31
			(9) 基幹的交通システム導入に関する調査		19,971	31
		* 防災・危機管理	(1) 地域防災フェア		26,785	32
			(2) 防災拠点運営委員会への支援		12,837	32
			(3) 防災拠点運営委員会訓練		6,846	32
			(4) 防災拠点備蓄品の整備		20,578	33
			(5) マンホールトイレの設置		3,954	33
			(6) ポケット版防災パンフレットの配布	新規	3,438	33
	(7) 安全・安心おまかせ出前相談と住まいの防犯対 策助成		99	33		
	(8) 災害時要援護者支援体制マニュアルの整備		2,754	34		
	(9) 在宅の人工呼吸器利用者に対する発電機の給 付	新規	626	34		
	(10) 高層住宅防災対策		5,261	34		
	(11) 帰宅困難者支援施設運営協議会への支援		9,038	34		
	(12) 地域の防犯対策への支援		24,469	35		
	(13) 災害時対応型公衆便所の整備		25,778	35		
	(14) 帰宅困難者対策条例に基づく備蓄品の整備	新規	31,792	36		
	(15) 住宅・建築物の耐震化助成		1,052,936	36		
	* 地域整備	(1) 名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および 日本橋再生に向けたまちづくり		7,964	37	
		(2) まちづくり支援事業(コミュニティ・ファンド)		538,954	38	
		(3) 築地場外市場地区先行営業施設の整備・開設 準備		7,958	38	
		(4) 築地場外市場「食」に関する情報拠点運営費助 成		8,000	38	
		(5) 都市再生土地区画整理事業助成		595,000	38	
		(6) 市街地再開発事業助成		4,061,480	39	

平成25年度 主要な施策一覧

		事業	新規	決算額 (千円)	頁		
3	にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして	* 商店街振興	(1) 観光商業まつり		48,357	40	
			(2) 商店街支援事業補助		279,217	40	
			(3) 共通買物券の発行		579,802	41	
		* 産業振興	(1) 中小企業振興補助		6,021	41	
			(2) 日本橋問屋街活性化事業支援		3,787	41	
			(3) 商工業融資		2,839,412	42	
			(4) 若年者合同就職面接会		243	43	
			(5) 職業相談・就職ミニ面接会		357	43	
		* 観光	(1) 東京湾大華火祭		276,588	43	
			(2) まち歩きツアー舟運コース		31	44	
			(3) まち歩き観光地図アプリ「中央区まち歩きマップ」	新規	2,936	44	
			(4) 観光拠点の整備	新規	18,381	44	
		○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり	* 学校教育	(1) 学習意欲の向上と学習習慣の定着		10,873	45
				(2) 小学校の学力向上対策		62,785	45
	(3) 中学校の学力向上対策				73,736	45	
	(4) 英語教育の推進				72,954	46	
	(5) 健康教育の推進				52,727	46	
	(6) 囲碁授業の実施			新規	550	46	
	(7) 特別支援教育への対応				158,265	47	
	(8) 心を育てる教育の推進				16,310	47	
	(9) 教育相談体制の強化				61,077	48	
	(10) 小学校・幼稚園の改築・増築				1,167,835	48	
	(11) スクールバスの運行				27,637	48	
	(12) 中央区PTA連合会創立60周年記念事業助成			新規	1,112	49	
		* 生涯学習・スポーツ	(1) スポーツ祭東京2013デモスポ行事の運営	新規	1,527	49	
	○ 文化の香る交流のまちづくり	* コミュニティ	(1) 大江戸まつり盆おどり大会		40,410	50	
			(2) 協働提案事業		1,590	50	
			(3) 区民還暦祝い事業		6,692	51	
		* 文化振興	(1) 中央区まるごとミュージアム		32,685	51	
(2) まちかど展示館				15,971	51		
(3) 文化事業助成				5,548	52		
* 平和		(1) 平和の都市(まち)の楽しい集い		9,210	52		
		(2) 平和展		2,393	52		

## 平成25年度 主要な施策一覧

事 業		新規	決算額 (千円)	頁	
4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進	○ 新たな課題への対応	(1) 区公式ホームページのリニューアル	20,322	54	
		(2) 「区のおしらせ 中央」および「区議会だより」のコンビニエンスストア・地下鉄駅での配布	465	54	
		(3) 保健医療福祉計画の改定	15,017	54	
	○ 緊急な課題への対応	(1) 緊急雇用創出事業	① 未就職学卒者等の就労支援事業	25,132	54
			② 路上弁当販売の監視	4,125	55
			③ 駅周辺等放置自転車の整理	6,334	55
			(2) 被災地支援のためのボランティア保険料助成	585	55
		(1) 中央会館「銀座ブロッサム」	344,665	56	
	(2) 佃児童館・シニアセンター	421,113	56		
	(3) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」等複合施設	485,490	56		

計 130事業 (うち新規18事業)

# 1 思いやりのある安心できるまちをめざして

## ○ 生涯をいきいきと暮らすために

### \* 保健医療

#### (1) 母子保健指導 [決算額 7,762千円]

乳幼児家庭の孤立化を防ぎ、母子の状況把握や助言等を行うため、保健師等による新生児等訪問指導に加え、新たに健診等で状況が把握できない1歳6カ月児と3歳児がいる子育て家庭の調査と訪問指導を行った。

また、訪問を通じて支援が必要な母子を把握した場合は、子ども家庭支援センターに相談・通告を行う等必要なサポートにつなげた。

新生児等訪問指導件数	1,666件
1歳6カ月児の状況把握数	1,002人
3歳児の状況把握数	965人

#### (2) がん検診 [決算額 448,600千円]

がんの早期発見・早期治療を目的として、各種がん検診を実施した。平成25年度は受診率向上のため、がん検診未受診者に意識調査を行った。

また、平成24年度に引き続き20歳～58歳までの乳がん・子宮がん検診の未受診者に再勧奨を行うとともに、国の「がん検診推進事業」も実施した。

受診者数	・胃がん検診	10,705人		
	・大腸がん検診	15,280人		
	・子宮がん検診	7,650人	(区 6,364人	国 1,286人)
	・乳がん検診	5,261人	(区 4,236人	国 1,025人)
	・肺疾患(肺がん等)検診	16,657人		
	・前立腺がん検診	4,670人		

#### (3) 歯科健康診査 [決算額 63,226千円]

歯周疾患の早期発見と予防のために成人歯科健康診査を実施した。

また、介護予防、窒息や誤えん性肺炎の予防を図るために高齢者歯科健康診査を実施した。

受診者数	成人歯科健康診査(30～70歳の偶数歳)	4,850人
	高齢者歯科健康診査(72歳以上の偶数歳)	1,488人

(4) 自殺総合対策推進事業

[決算額 1,530千円]

ア 健康福祉まつり・健康増進フェア

こころの健康づくり（うつ病・自殺予防）のコーナーを設置し、ストレス解消方法やうつおよび自殺に対する正しい知識を周知した。

イ 東京都自殺予防月間（9月・3月）

懸垂幕等の掲出（中央区保健所）、パネル展示（区施設4カ所）、街頭キャンペーン、ポスター掲示（区施設）を行い、自殺に対する正しい理解の推進と、要因となるこころの悩み・多重債務・労働問題等の各種相談窓口を周知した。

ウ ゲートキーパー養成講座

悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげ、見守る人を養成するゲートキーパー養成講座を実施した。

開催数 2回

参加者数 101人

エ 中央区自殺対策協議会

本区における自殺対策の推進、自殺対策に関わる関係機関等の連携に関する事項等を協議・検討するため、区、医療機関、関係機関等で構成する「中央区自殺対策協議会」を開催した。

開催数 2回（7月、2月）

オ 自殺未遂者調査

本区の実情に即した自殺対策を検討するため、区内救急病院と協力して自殺未遂者の実態を把握した。

(5) 先天性風しん症候群緊急対策風しん予防接種費用助成

[決算額 22,260千円]

先天性風しん症候群の予防を目的として、19歳以上で妊娠を予定または希望している女性と妊婦の夫（胎児の父）を対象に、風しん含有ワクチン接種費用の全額助成を実施した。

助成者数 2,281人

\* 障害者福祉

(1) 放課後等デイサービスの実施 [決算額 28,163千円]

平成24年度まで実施していた障害児一時預かり事業を、平成25年度から児童福祉法に基づく放課後等デイサービスに移行するとともに、利用時間および定員を拡大し、障害児の放課後や夏休み等における居場所の確保を図った。

対象者	区内在住の小学生から高校生までの障害児	
利用定員	1日10人	
場所	福祉センター	
利用料	無料（昼食・おやつ代等については、実費を徴収）	
実施日	月曜日～土曜日（祝日、年末年始を除く。）	
利用時間	・学校休業日 夏休み等長期休業日 午前9時～午後6時 開校記念日等休業日 午前9時～午後7時 ・その他平日 放課後～午後7時 ・土曜日 午前9時～午後6時	
利用状況	登録者数	31人
	開設日数	294日
	利用者数	延1,710人

(2) 障害者就労支援モザイク平板の設置 [決算額 3,030千円]

障害のある方が建設廃材を活用して制作したモザイク平板を、区施設の壁面等に設置することにより、障害のある方の自立を支援するとともに、うるおいのあるまちづくりを推進した。

設置場所	中洲公園
施工面積	約20㎡

(3) 精神障害者地域活動支援センターの整備・開設 [決算額 21,350千円]

在宅の精神障害者が、地域において自立した生活を営むことができるよう、相談、日中の居場所、創作的活動等のサービスを受けることができる地域活動支援センター「ポケット中央」を開設した。

開設日	平成25年10月2日
所在地	中央区明石町12番1号 中央区保健所5階
開所日	月・水・木・土・日曜日（年末年始を除く。）
利用者数	延2,712人

(4) 障害のある方の住宅への家具類転倒防止器具の取付 [決算額 298千円]

家具類の転倒を防止し、生命の安全と財産の保全を図ることを目的として、一定以上の障害のある方の住宅への家具類転倒防止器具の取付を行った。

平成25年度は、新たに耐震固定バンドを加え転倒防止器具を10種類とした。

費用負担 4個までは器具および取付費用無料

設置者数 13人

器具取付個数 50個

(5) 障害者ヘルプカードの作成 [決算額 2,070千円]

障害のある方が自分への理解や支援を周囲に対して求める手段として使用する、緊急連絡先や必要な支援内容などを記載した携帯用の「ヘルプカード」等について、作成・普及に係る検討を障害者団体等とともにを行った。

\* 高齢者福祉

(1) 高年齢者合同就職面接会 [決算額 74千円]

おおむね55歳以上の高年齢者の就労機会を拡大するため、高年齢者と求人を希望する区内を中心とした企業との合同就職面接会を「中央区地域雇用問題連絡会議」（区、社会福祉法人中央区社会福祉協議会、公益社団法人中央区シルバー人材センターほか）主催により開催した。

開催日 平成26年2月26日

会場 区役所大会議室

参加企業 15社

来場者数 117人

(2) 「見守りキーホルダー」登録システム [決算額 628千円]

65歳以上（要支援・要介護認定者は40歳以上）の区民が外出中に倒れ救急搬送された場合や徘徊などで保護された場合などに、あらかじめ登録された番号をおとしより相談センターに問い合わせることで迅速に身元確認等ができる「見守りキーホルダー」を配布し、高齢者が安心して外出できるよう支援した。

配布数 512個

(3) 高齢者健康づくり事業 [決算額 32,677千円]

高齢者がいつまでも健康であり続けるために、身体機能の維持向上など要介護状態にならないための介護予防に資する健康づくり事業を実施した。

ア はつらつ健康教室・さわやか健康教室

60歳以上の高齢者で、生活機能に低下が認められる方を対象にはつらつ健康教室を、低下が見られない方を対象にさわやか健康教室を実施した。

はつらつ健康教室参加者数 延2,708名 (計288回)

さわやか健康教室 (トレーニングマシンコース) 参加者数 延1,996名 (計288回)

さわやか健康教室 (ゴムバンドコース) 参加者数 延512名 (計72回)

イ ゆうゆう講座

60歳以上の高齢者で、要支援・要介護認定を受けていない方を対象に、楽しみながら自然と介護予防につながる講座を実施した。

参加者数 延724名 (計24回)

ウ 訪問健康づくり

通所が困難と思われる方に保健師が居宅を訪問し、生活機能向上に必要な指導・助言を行った。

事業利用呼びかけ電話等 205回

訪問件数 80回

エ さわやか体操リーダーの育成

おおむね50歳以上の区民を対象として、高齢者向けの体操教室で体操の指導等を行うさわやか体操リーダー講座を育成する講座 (初級編5日間・上級編5日間) を実施するとともに、リーダーによる教室を拡大した。

さわやか体操リーダー 8名

育成講座上級編修了者 9名

育成講座初級編修了者 7名

リーダーの体操教室参加者数 延942名 (計96回)

(4) 敬老大会 [決算額 80,926千円]

「敬老の日」の記念行事の一つとして、70歳以上の高齢者を区内の劇場に招待した。

会場 歌舞伎座

参加者数 8,252人

開催日数 5日

(5) 高齢者雇用促進奨励金 [決算額 1,590千円]

働く意欲のある高齢者が、培った知識や経験を生かして、いつまでも働ける就労環境の整備を推進するため、65歳以上の区民の雇用を積極的に行う事業主に対し、高齢者雇用促進奨励金を交付した。

ア 高齢者雇用制度導入奨励金

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が行う「中小企業定年引上げ等奨励金」の支給決定を受けた事業主に対して奨励金を交付した。

交付額 1事業主あたり10万円

交付件数 12件

イ 高齢者雇用企業奨励金

無料職業紹介所「シルバーワーク中央」またはハローワークの紹介により、65歳以上の区民を6カ月間および1年間継続雇用した事業主に対して奨励金を交付した。

交付額 6カ月間継続雇用

週20時間以上30時間未満の雇用契約の場合 2万円

週30時間以上の雇用契約の場合 4万円

1年間継続雇用

週20時間以上30時間未満の雇用契約の場合 3万円

週30時間以上の雇用契約の場合 6万円

交付件数 11件

(6) 地域見守り事業支援 [決算額 1,272千円]

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、おとしより相談センターを核とした地域見守りネットワークの拡大を図るため、あんしん協力員による声かけや見守り活動を行う地域団体への支援を行った。

また、自宅で倒れた時などに救急隊による救急活動がより適切に行えるよう、緊急連絡先や血液型などを記入して冷蔵庫に保管しておく、「救急医療情報キット」を配布した。

見守り団体数 14団体

見守り対象者数 320人

あんしん協力員数 126人

救急医療情報キット配布数 293個

(7) 高齢者食事サービス [決算額 20,801千円]

調理が困難な70歳以上（要支援・要介護の認定を受けた者は65歳以上）のひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯・日中独居の高齢者に安否確認をかねて食事（昼・夕食）を配達した。平成25年度から新たに一般食に加え、エネルギー調整食、たんぱく質調整食の配食を開始した。

配食数 91,902食（うちエネルギー調整食、たんぱく質調整食 1,464食）  
利用者数 延6,541人

(8) 地域密着型特別養護老人ホーム等「ケアサポートセンターつきしま」の整備 [決算額 1,466,651千円]

要介護と認定された高齢者が、身近な地域で安心して生活を送ることができるよう、地域密着型特別養護老人ホームを整備した。

所在地 中央区月島1丁目5番2号 キャピタルゲートプレイス3・4階  
施設概要 地域密着型特別養護老人ホーム（ショートステイを含む）  
定員 ・地域密着型特別養護老人ホーム 29人（10人、10人、9人の3ユニット）  
・ショートステイ 6人  
開設日 平成25年11月1日  
運営事業者 社会福祉法人長岡福祉協会

(9) 地域密着型特別養護老人ホーム等「ケアサポートセンター十思」等の整備 [決算額 600,992千円]

十思スクエア敷地内における地域密着型特別養護老人ホーム等複合施設について、埋蔵文化財調査および施設整備工事を行った。

所在地 中央区日本橋小伝馬町5番19号（十思スクエア別館）  
施設概要 地域密着型特別養護老人ホーム（ショートステイを含む。特別養護老人ホーム定員 29人、ショートステイ定員 8人）、小規模多機能型居宅介護事業所（登録定員 25人）、小ホール、公衆浴場  
構造規模 耐火構造、地下1階地上5階建て  
開設日 公衆浴場 平成26年7月14日  
特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所 平成26年9月1日

(10) 在宅療養支援

[決算額 19,177千円]

ア 在宅療養支援病床の確保

要介護高齢者等が地域で安心して在宅療養を続けられるよう、病状の急変時等に速やかな受け入れが可能な病床を確保した。

病床数 3床 (3カ所)

入院期間 14日以内

利用日数 延708日

イ 在宅療養支援協議会の運営

経管栄養などの医療的ケアを必要とする要介護者を在宅で介護する家族の負担を軽減するとともに、可能な限り在宅での生活を継続できるよう、学識経験者、医療関係団体、主任介護支援専門員等から構成される「中央区在宅療養支援協議会」において、支援のための体制づくりや方策を検討した。

実施回数 2回

協議内容 ・これまでの成果と今後の取組について  
・在宅療養研修について等

ウ 在宅療養支援訪問看護

要介護者等が在宅で療養中の場合や、病院等を退院・退所または外泊する場合に、看護師等が居宅を訪問して療養上の相談や医療的ケアの指導などを行い、要介護者やその家族が地域において安心して暮らし続けられるよう訪問看護指導を行った。

派遣回数 17回

利用者数 9人

エ 在宅療養研修

介護サービス事業所を対象に在宅療養に必要な知識や技術の習得・向上を図るための研修および区民を対象に在宅療養の意識啓発と情報提供を図るための研修を実施した。

事業所向け 3回

区民向け 1回

(11) 敬老買物券等の贈呈

[決算額 38,833千円]

75歳以上の高齢者の長寿を祝し、年齢に応じて区内共通買物券等を贈呈した。

贈呈者数 10,741人

(12) ミドルステイ・緊急ショートステイ

[決算額 17,543千円]

ア 特別養護老人ホーム入所申込者の在宅介護を支援するため、連続して1～3カ月（年間上限3カ月）宿泊利用できるミドルステイを実施した。

利用施設 サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）  
確保床数 2床  
対象者 要介護4または5で区内特別養護老人ホームの入所申込者  
利用者数 8人  
利用日数 延480日

イ 介護者が急病や著しい心身の疲労等で介護にあたれない場合に、緊急に短期入所サービスを民間委託により実施することで、要介護者家族の在宅介護の支援を図った。

利用施設 サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）  
確保床数 3床（うち1床は医療ニーズの高い方対応枠）  
対象者 要介護または要支援の在宅療養者  
利用者数 56人（うち14人は医療ニーズの高い方）  
利用日数 延473日（うち93日は医療ニーズの高い方）

(13) 巡回型ホームヘルプサービス

[決算額 68,883千円]

ア 24時間対応型

区が介護保険の訪問介護事業所として指定を受け、要介護者等のいる家庭に対して24時間巡回型ホームヘルプサービスを実施した。

利用者数 延435人（高齢者376人、障害者59人）

イ ナイトサポート

区が介護保険の夜間対応型訪問介護事業所として指定を受け、要介護者のいる家庭を対象に夜間における定期巡回および緊急の要請に応じた相談・アドバイスを行うとともに、必要に応じて介護福祉士等を利用者宅へ派遣した。

利用者数 延802人

(14) 高齢者生活援助サービス

[決算額 14,706千円]

要支援・要介護と認定された高齢者に対して、生活援助および院内介助のため、民間事業者ヘルパーを派遣した。

生活援助派遣世帯数 488世帯（派遣回数 延5,257回）  
院内介助派遣世帯数 229世帯（派遣回数 延1,707回）

(15) 高齢者の住宅への家具類転倒防止器具の取付 [決算額 2,473千円]

家具類の転倒を防止し、生命の安全と財産の保全を図ることを目的として、緊急時の対応が困難な65歳以上の高齢者の住宅に、家具類転倒防止器具の取付を行った。

平成25年度は、新たに耐震固定バンドを加え転倒防止器具を10種類とした。

費用負担	4個までは器具および取付費用の1割（住民税非課税世帯は無料）
設置者数	112人
器具取付個数	435個

(16) 元気高齢者人材バンク [決算額 2,013千円]

豊かな知識や経験を持ち、社会貢献したいと考えている高齢者等に対し、「元気高齢者人材バンク」への人材登録を通じて、ボランティア活動等のコーディネート、登録者の交流会の実施、ホームページによる情報発信等を行い、高齢者の社会活動を推進した。

登録者数	87名
活動日数	延150日
活動者数	延511名

\* 生活衛生

(1) 負傷猫の治療費助成 [決算額 87千円]

動物の愛護および管理の意識を高めるとともに、飼い主のいない負傷猫の保護等への協力を支援するため、動物との共生推進員が飼い主のいない負傷猫を保護した場合における治療費の助成を実施した。

対 象	区内で発見され治療等により自力で歩行できる程度に回復見込みがある負傷猫
助 成 額	1匹につき2万円を限度に治療費を助成
助成件数	5件（5匹）

## ○ 健やかな子どもを育むために

### \* 子育て支援

#### (1) 出産支援事業 [決算額 95,057千円]

##### ア 出産支援祝品

妊娠中の方に対し、通院等の経済的・身体的な負担を軽減するため、出産支援祝品（タクシー利用券1万円分）を贈呈した。なお、贈呈金額の見直しに伴い、4月から6月末までに申請した経過措置該当者については、従前どおり3万円分を贈呈した。

贈呈件数 1,749件

##### イ 新生児誕生祝品

新たな区民の誕生を祝福し、その健やかな成長を支援するため、新生児誕生祝品（区内共通買物券3万円分）を贈呈した。

贈呈件数 1,675件

#### (2) 新川児童館の改築 [決算額 167,500千円]

施設の老朽化に対応するとともに、施設規模の拡大および子育て支援機能等の充実を図るため、明正小学校・明正幼稚園との複合施設として整備した。

移転日 平成26年9月1日

所在地 中央区新川2丁目13番4号 明正小学校等複合施設5・6階の一部

面積 1,839.06㎡

#### (3) 子どもの居場所「プレディ」等 [決算額 211,030千円]

子どもの健全育成を図るため、放課後などに子どもが安全に安心して過ごせる子どもの居場所「プレディ」および「放課後子ども広場」を実施した。

開設校 中央小学校、明石小学校、京橋築地小学校、有馬小学校、久松小学校、  
佃島小学校、月島第一小学校、月島第二小学校、月島第三小学校、豊海小学校

#### (4) 「中央区子ども・子育て支援事業計画（仮称）」の策定 [決算額 3,872千円]

平成27年度から開始予定の「子ども・子育て支援新制度」に対応するため、「中央区子ども・子育て支援事業計画（仮称）」の策定に向け、区長の附属機関として「中央区子ども・子育て会議」を設置した。平成25年度については、同年度に実施した子ども・子育て支援新制度における利用希望把握調査の結果をもとに算出した保育需要量見込み等について審議を行った。

(5) 京橋こども園の整備・開設 [決算額 1,392,184千円]

保育所入所定員の拡大を図るとともに、すべての子育て世帯を対象とした一時預かり保育などの子育て支援事業を実施するため、京橋二丁目に整備された子育て支援施設を取得し、保護者の就労の有無にかかわらず就学前の子どもに対して教育と保育を一体的に提供する「京橋こども園」を開設した。

なお、通常の延長保育（午後6時30分～午後7時30分）に加え、日を単位とする利用のみを対象に夜間（午後7時30分～午後10時）の保育を実施した。

所在地	中央区京橋2丁目17番7号
施設内容	保育室、遊戯室、調理室、子育て支援室等
定員	69人（長時間保育 60人、短時間保育 9人）
開園日	月曜日～土曜日（祝日、年末年始を除く。） ただし、一時預かり保育は年中無休
開設日	平成25年10月1日

(6) 認可外保育施設保育料の助成 [決算額 208,323千円]

認証保育所等の認可外保育施設に子どもを預けている保護者に対し、施設へ支払う保育料と認可保育園保育料との差額に応じて助成を行うことにより経済的負担の軽減を図った。

助成額	差額に応じ、月額1万円から5万円
助成件数	延7,989件

(7) 子ども医療費助成 [決算額 506,610千円]

乳幼児および小・中学生の医療費（通院・入院）を助成した。

医療証発行状況（平成26年3月31日現在）

・乳幼児医療証（対象：乳幼児）	8,962人
・子ども医療証（対象：小・中学生）	7,032人

助成件数

・乳幼児医療	174,977件
・子ども医療	100,587件

(8) 保育従事職員等の処遇改善 [決算額 28,560千円]

保育人材確保対策を推進するため、私立認可保育所および認証保育所に対し、保育従事職員等の処遇改善費用を助成した。

助成件数・助成額

- ・私立認可保育所 8カ所、11,470千円
- ・認証保育所 17カ所、17,090千円

(9) 新設私立認可保育所への開設準備経費補助 [決算額 672,863千円]

保育所待機児童の解消に向け、新たに私立認可保育所を開設する事業者へ開設準備経費の補助を行い、認可保育所7カ所の開設を支援した。

なお、待機児童の多い1歳児の新規受け入れ枠を確保するため、平成26年4月に開設する各保育所については、1歳児から5歳児までのクラス編成とした。

平成25年9月1日開設の保育所 1カ所(定員80人拡大)

施設名	太陽の子月島保育園
運営事業者	長谷川興産株式会社
所在地	中央区月島1丁目5番2号2F
定員	80人(0～5歳児)

平成26年4月1日開設の保育所 6カ所(定員481人拡大)

施設名	ぼけっとランド明石町保育園	太陽の子新川保育園	グローバルキッズかきがら園
運営事業者	学校法人三幸学園	長谷川興産株式会社	株式会社グローバルキッズ
所在地	中央区明石町7番15号	中央区新川1丁目24番1号 秀和第二新川ビル2F	中央区日本橋蛸殻町1丁目16番11号 STビル
定員	91人(1～5歳児)	95人(1～5歳児)	45人(1～5歳児)
施設名	日生東日本橋保育園ひびき	アンジェリカ月島保育園	ポピンズナーサリースクール晴海
運営事業者	株式会社日本生科学研究所	株式会社アンジェリカ	株式会社ポピンズ
所在地	中央区東日本橋1丁目5番13号 セイワ東日本橋ビル	中央区月島2丁目13番5号	中央区晴海2丁目1番40号 晴海フロント2F
定員	90人(1～5歳児)	100人(1～5歳児)	60人(1～5歳児)

※認可保育所数および定員

平成25年4月1日時点 保育所数 22カ所、定員 2,179人

平成26年4月1日時点(上記7保育所および京橋こども園(長時間保育定員60人)開設後)

保育所数 30カ所、定員 2,800人(前年同日比 621人増)

○ 思いやりとふれあいのあるまちのために

\* 男女共同参画

(1) 男女共同参画講座等の充実 [決算額 2,688千円]

ア 男女共同参画講座を7回実施し、男性向けの講座など内容や回数の充実を図った。

- ・「おとこの家事チャレンジ」 3回実施（参加者 延24名）

イ 育児中の保護者社会参加応援事業として、子育て世代の父親を対象とする「中央区イクメン講座」（新規）および育児中の保護者を対象とする「ほっと一息私の時間」を実施した。

- ・「中央区イクメン講座」 3回実施（参加者 延36名）
- ・「ほっと一息私の時間」 6回実施（参加者 延65名）

(2) ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定 [決算額 3,629千円]

ワーク・ライフ・バランスを推進する企業を認定し、その取組を広く紹介するとともに、アドバイザーの派遣やセミナーの開催により一層の普及促進を図った。

- ・新規認定企業2社、更新認定企業4社（更新は2年毎）  
区の認定企業16社
- ・アドバイザー派遣3社
- ・セミナー開催 平成25年11月8日（参加者51名）、22日（参加者96名）

## 2 うるおいのある安全で快適なまちをめざして

### ○ 住みやすい環境づくり

#### \* 住宅・住環境

##### (1) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導 [決算額 33,604千円]

高齢者の居住安定の確保を図るため、民間事業者による高齢者向け優良賃貸住宅の整備や家賃の減額に要する費用の一部を助成し、質の高い良好な高齢者向け住宅の供給を促進した。

建設費補助 2棟

家賃補助 27戸 (2棟)

#### \* 公園・緑地・水辺

##### (1) 水生生物調査の実施 [決算額 2,394千円]

河川や運河などの水質状況を把握するために、区内8地点において、魚類、付着生物、底生生物などの水生生物調査(5年ごと)を実施した。調査結果をもとに水生生物の採集状況等を表したパンフレット「川の中の生き物たち」を作成し、区立小・中学校等に配布した。

###### ア 調査日時・項目・地点

平成25年7月22日～24日

魚類、付着生物、底生生物、水質、底質

①中央大橋(隅田川) ②浅草橋(神田川) ③日本橋(日本橋川) ④亀島橋(亀島川)

⑤大手門橋(築地川) ⑥黎明橋(朝潮運河) ⑦石川島公園 ⑧佃小橋(佃川支川)

###### イ 調査結果

魚類 ボラやハゼ、カニなど10種類約170個体

付着生物 フジツボ、ムラサキイガイなど14種類

底生生物 アサリやゴカイなど29種類約3,000個体

###### ウ 刊行物の発行

「川の中の生き物たち」冊子 3,000部

##### (2) 民間施設の緑化助成 [決算額 10,329千円]

みどり豊かな都市景観の創出やヒートアイランド現象の緩和などを目的として、接道部、地上部および建物の屋上等を一定の割合で緑化するよう指導するとともに、緑化に要する経費の一部を助成した。

緑化助成 10件 (10,229千円)

樹木等保護育成助成 4件 (100千円)

(3) 水の都プロジェクトの推進

[決算額 92,426千円]

貴重な水辺を区民の憩いの場として活用するため、スーパー堤防事業などにあわせて、利便性・安全性に配慮した、うるおいのある水辺の空間を整備した。

ア 月島三丁目児童遊園の改修

整備箇所 中央区月島3丁目1番1号先  
施工面積 1,340.77㎡  
整備内容 擁壁工（スロープ設置）1式、階段工 5カ所、LED照明 3基、  
ベンチ 8基、アスファルト舗装工 46.8㎡、  
コンクリート系舗装工 429.6㎡  
高木植栽 ソメイヨシノ 3本  
中低木植栽 ベニカナメモチ 18本、キンモクセイ 7本、  
ツツジ・ユキヤナギ 368本  
地被植栽 ヒペリカムカリシナム、ビンカミノールほか 832株  
一部完成 平成26年3月（全体完成予定 平成26年10月）

イ 石川島公園の拡張

整備箇所 中央区佃2丁目1番5号  
施工面積 148.22㎡  
整備内容 擁壁工 1式、LED照明 14基、コンクリート系舗装工 62.0㎡  
中低木植栽 イヌマキ・ツツジ・アジサイほか 757本  
地被植栽 キチジョウソウ・ヤブコウジ・シランほか 605株  
完 成 平成26年3月

(4) 日本橋船着場の整備

[決算額 95,108千円]

日本橋船着場のバリアフリー化を図るため、滝の広場にエレベーター等を設置した。

整備箇所 中央区日本橋1丁目9番先  
整備内容 EV塔工事 1式、昇降機設備工事 1式、手すり設置工事 7.0m  
完 成 平成26年3月

(5) 街路樹の整備

[決算額 10,863千円]

道路整備などにあわせて、地域の意向を踏まえた街路樹の新規植栽、樹種変更を行い、緑の量的拡大および質的向上を図った。

ア 人にやさしい歩行環境の整備（新規植栽）

整備箇所 中央区京橋2丁目13番先～17番先

高木植栽 イロハモミジ 14本

整備箇所 中央区日本橋本町1丁目5番先～日本橋本町2丁目4番先

高木植栽 ソメイヨシノ 12本

イ 道路の改修工事（新規植栽）

整備箇所 中央区日本橋本町4丁目4番先～6番先

高木植栽 オカメザクラ 28本

ウ 橋りょうの架替えに伴う取付道路の整備（樹種変更）

整備箇所 中央区勝どき1丁目2番先～4番先

樹種変更 高木 ヤマボウシ 16本

(6) 公園・児童遊園の改修

[決算額 151,577千円]

区民のレクリエーションや憩いの場等を充実させるため、公園の改修等を行った。

ア 常盤公園・弾正橋北東児童遊園・湊町第一児童遊園の設計

委託箇所 中央区日本橋本石町4丁目4番3号 他2カ所

委託内容 基本設計・実施設計

完了 平成26年3月

イ 十思公園の改修

整備箇所 中央区日本橋小伝馬町5番2号

施工面積 2,084.26㎡

整備内容 擁壁工 1式、LED照明 7基、ソーラー照明 1基、  
かまどベンチ 3基、ベンチ 7基、  
コンクリート系舗装工 280.4㎡、ダスト舗装 862.0㎡、  
ゴムチップ舗装 76.0㎡ ほか

高木植栽 ケヤキ 2本、ソメイヨシノ 2本、イロハモミジ 1本

中低木植栽 アセビ・ツツジ・ジンチョウゲほか 613本

地被植栽 フッキソウ・ツワブキほか 593株

完成 平成26年8月

ウ 弾正橋北東児童遊園の改修

整備箇所 中央区八丁堀3丁目2番6号

施工面積 247.9㎡

整備内容 擁壁工 1式、階段工 1カ所、LED照明 1基、ベンチ 4基、  
スツール 1基、コンクリート系舗装工 117.1㎡、  
レンガ・タイル系舗装工 68.6㎡ ほか  
高木植栽 サルスベリ 1本  
中低木植栽 サザンカ・シャクナゲ・ツバキ・ツツジほか 325本  
地被植栽 シマカンスゲ・ローズマリーほか 396株

完 成 平成26年3月

エ 黎明橋公園の改修

整備箇所 中央区晴海3丁目1番6号

施工面積 7,103.16㎡

整備内容 コンクリート擁壁工 1式、木製斜路設置工 2カ所  
LED照明灯(足元灯、ソーラー含む) 24基、  
アスファルト舗装工 744.0㎡、コンクリート系舗装工 791.0㎡  
ダスト舗装工 541.0㎡、池 1カ所、ベンチ 10基 ほか  
高木植栽 ソメイヨシノ・オオシマザクラ・サトザクラ  
ヤマザクラほか 36本  
低木植栽 コクチナシ・オオムラサキツツジほか 2,650本  
地被植栽 コグマザサ・ヒペリカムヒデコートほか 5,545株  
コウライシバ 約2,480㎡

完 成 平成25年5月

## ○ 地球にやさしい環境づくり

### \* 環境保全

#### (1) 環境情報センターの開設 [決算額 54,936千円]

環境情報の提供・発信および区民や事業者、環境活動団体の環境活動拠点として開設し、環境問題への関心や環境活動の輪を広げていくため、講演会や講座、展示等を開催したほか、環境活動団体の活動紹介展や発表会を実施した。

開館日数	296日
来館者数	15,042人
環境活動団体登録数	20団体
開設日	平成25年6月2日

#### (2) 中央区の森 [決算額 15,710千円]

区域を越えた広域的な地球温暖化対策事業として、檜原村数馬地区および南郷地区において森林保全活動を行うとともに、「中央区の森」事業への理解を深め、自然の中での活動体験を通して環境意識の向上を図るために、体験ツアーを実施した。また、平成23年3月に策定した「中央区の森環境ふれあい村構想」に基づき、村・区・区民等による協議会で事業を具体化し、数馬地区に案内板の設置等を行った。

##### ア 森林保全活動

数馬地区 間伐 2.0ha、下草刈り 5.6ha

南郷地区 間伐・伐採 2.0ha、下草刈り 0.5ha、広葉樹植栽 0.5ha

##### イ 中央区の森体験ツアー

春 31人参加、秋 荒天中止、親子体験ツアー 32人参加

##### ウ 案内板等の設置

5基

#### (3) 低公害車の普及促進 [決算額 2,845千円]

自動車公害対策、地球温暖化対策の一環として、電気自動車の普及を図るため、区役所など3カ所の駐車場に設置した電気エコ（急速充電）スタンドを無料で一般に開放した。

##### 電気エコスタンド利用実績（充電回数）

区役所附属駐車場	4,795回
浜町公園地下駐車場	1,893回
月島駐車場	1,420回

(4) 区施設の設備運用改善による省エネルギーの取組 [決算額 2,970千円]

区施設の設備運用改善による省エネルギー化に取り組むため、2施設(中央区保健所等複合施設・月島第三小学校等複合施設)をモデル施設として、エネルギー使用実態の把握および課題の抽出を行い、効率的で実効性のある運用マニュアルを作成した。

(5) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器等導入費助成 [決算額 23,479千円]

地球温暖化対策として、自然エネルギー・省エネルギー機器等の普及を促進するため、区内の住宅および事業所の機器導入に対して費用の助成を行った。

助成実績

・住宅用	太陽光発電システム	1件
	燃料電池給湯器(エネファーム)	1件
	高反射率塗料等	21件
・共同住宅共用部用	LEDランプ	14件
	高反射率塗料等	3件
・事業所用	太陽光発電システム	1件
	エアコンディショナー	38件
	LEDランプ	42件
	高反射率塗料等	4件
	その他省エネルギー機器	3件

(6) 街路灯のLED化 [決算額 49,442千円]

地球温暖化対策の一環として、環境に配慮したLEDランプを街路灯に導入した。

街路灯整備 101基(八重洲、新川、日本橋本石町、日本橋室町、日本橋箱崎町、月島、晴海)

(7) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備 [決算額 2,394千円]

「中央区の森」の間伐材を使用したベンチを製作し、公園に設置した。

堀留児童公園 10基

(8) 地域クリーンパトロールの展開 [決算額 38,832千円]

歩きたばこやポイ捨てを防止するため、主要交差点や駅周辺を中心とした区内全域において巡回指導を行った。また、歩きたばこが多い交差点を中心に、町会や事業所等と合同で街頭キャンペーンを実施した。

巡回指導実施日 毎日（年末年始を除く。） 午前6時～午後7時

巡回体制 2人1班の7班体制

街頭キャンペーン 9回実施 入船橋交差点ほか8カ所

\*循環型社会

(1) リサイクル事業の普及・啓発 [決算額 1,881千円]

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進をはじめ、環境問題全般について、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ「エコまつり」を開催した。エコまつりは、フリーマーケットと同時開催するとともに、区内の小・中学校等から排出された生ごみの堆肥により栽培した野菜（キャベツ）等の販売を行った。また、フリーマーケットについては、区内の公園で3回開催した。

ア エコまつり

実施日 平成25年6月9日

会場 浜町公園

来場者数 約2,200人

実施内容 リサイクル自転車の販売、ごみの中からこんなもの展など全15ブース

イ フリーマーケット

会場 浜町公園（エコまつりと同時開催、78店舗出店）

月島第二児童公園（平成25年9月28日開催、69店舗出店）

あかつき公園（平成25年11月9日開催、66店舗出店）

(2) 土のリサイクル [決算額 2,323千円]

家庭で不用になった園芸用土の拠点回収を全小学校および銀座・日本橋中学校で実施するとともに、再生した土は苗木即売会等で無償配布した。

回収実績 10,220kg

配布実績 11,380kg

(3) 資源持ち去り防止対策 [決算額 5,397千円]

区民が安心して資源物を排出できる環境を確保するため、資源持ち去り防止パトロールを実施した。

また、集積所のびん・缶用コンテナに、持ち去り禁止看板を設置するとともに、新たに警告文を表示したびん・缶用コンテナを製作し配置した。

さらに、持ち去り防止の新聞回収袋を区役所、中央清掃事務所、日本橋・月島特別出張所、京橋・日本橋・月島図書館で配布した。

パトロール実施日	月曜日～土曜日（年末年始を除く。）
看板設置数	260カ所
びん・缶用コンテナ製作数	800 個
新聞回収袋作成枚数	34,000 枚

(4) 資源再利用（リサイクル）の推進 [決算額 504,823千円]

ア 集団回収の支援

地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する助成を行った。

登録団体数	222団体
回収実績	4,807,106kg

イ 拠点回収

資源物をリサイクルしやすいように公共施設等に資源の回収箱を設置している。公共施設では牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類の回収を行ったほか、毎週土曜日に全小学校および銀座・日本橋中学校で廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、蛍光灯、乾電池の回収を行った。また、回収協力店でペットボトルの回収を行った。

回収実績	173,130kg
------	-----------

ウ 集積所回収

集積所で紙類、びん、缶（スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベを含む。）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、金属製のなべ・やかん・フライパンの回収を行った。

回収実績	6,423,820kg
------	-------------

## ○ 都心にふさわしい都市の基盤づくり

### \* 道路・交通

#### (1) 橋りょうの健全度調査 [決算額 17,809千円]

橋りょうの安全性確保を図るための定期的な調査として、老朽度や交通量など健全度調査を行った。なお、その結果については長寿命化修繕工事等に反映した。

##### ア 調査橋りょう

新尾張橋、千代橋、高橋、亀島橋、新亀島橋

##### イ 調査内容

現地踏査、外観目視調査、打音調査、交通量調査

#### (2) 橋りょう長寿命化修繕工事 [決算額 150,129千円]

橋りょうの安全性の確保や長寿命化を図るため、「中央区橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの修繕工事を行った。

##### ア 新尾張橋

所在地 中央区築地5丁目4番先～銀座8丁目20番先

実施内容 塗装工、橋面防水工、歩道舗装工、桁補修工

##### イ 千代橋

所在地 中央区築地5丁目3番先～銀座7丁目18番先

実施内容 車道舗装工、橋台補修工、塗装工

##### ウ 朝潮橋

所在地 中央区晴海1丁目5番先～月島2丁目20番先

実施内容 歩車道舗装工、防護柵設置工、高欄設置工

#### (3) 昭和通り銀座歩道橋昇降機の改修 [決算額 4,725千円]

昭和通り銀座歩道橋に併設するエスカレーターについて、老朽化への対応および歩行空間のバリアフリー機能の向上を図るため、エスカレーターの更新およびエレベーター新設のための基本設計を行った。

所在地 中央区銀座7丁目13番先～銀座8丁目14番先

(4) 橋りょうの架替

[決算額 503,510千円]

ア 西仲橋

西仲橋について、上部工、上部仕上げ工および取付道路の整備工事を行った。

所在地 中央区月島3丁目31番先～勝どき1丁目2番先

規模 橋長 39.7m、幅員 12.0m

実施内容 上部工事、上部仕上げ工事、橋詰・緑地帯復旧工事、取付道路整備工事

完成 平成26年3月

イ 新島橋

新島橋架替の先行工事として、仮設橋りょうの設置および用地の取得を行った。

所在地 中央区勝どき4丁目13番先～勝どき5丁目2番先

規模 橋長 47.0m、幅員 36.0m～41.0m

実施内容 仮設橋りょう設置工事、用地取得

完成 平成32年3月予定

(5) 環境にやさしい道路の整備

[決算額 92,207千円]

道路交通による騒音の抑制や雨水の地中への浸透、ヒートアイランド現象の緩和などに効果がある環境にやさしい道路整備を行った。

整備路線

ア 低騒音舗装

- ・中央区日本橋本町1丁目5番先～日本橋本町2丁目4番先

整備延長 110m 車道舗装 860㎡

- ・中央区日本橋小伝馬町3番先～7番先

整備延長 130m 車道舗装 1,851㎡

イ 遮熱性舗装

- ・中央区日本橋小伝馬町12番先～日本橋堀留町1丁目10番先

整備延長 290m 車道舗装 3,633㎡

- ・中央区日本橋馬喰町1丁目8番先～日本橋横山町4番先

整備延長 210m 車道舗装 2,562㎡

ウ 透水性舗装

- ・中央区湊1丁目2番先～7番先

整備延長 130m 車道舗装 263㎡

(6) 電線共同溝の整備

[決算額 203,242千円]

災害に強い都市基盤の整備や安全で円滑な道路交通の確保、都市景観の向上を図るため、電線共同溝の整備を行った。

ア 整備地区

- ・中央区日本橋室町4丁目・日本橋本町4丁目地区

実施内容 引込・連系管路工事

整備延長 100m

- ・中央区日本橋本石町4丁目・日本橋室町4丁目地区

実施内容 引込・連系管路工事

整備延長 150m

- ・中央区日本橋本町2丁目3番先～5番先

実施内容 引込・連系管路工事

整備延長 100m

- ・中央区築地6丁目16番先～築地7丁目18番先

実施内容 本体整備、移設補償

整備延長 320m

- ・中央区八丁堀3丁目18番先～日本橋茅場町1丁目8番先

実施内容 移設補償

整備延長 200m

イ 設計

- ・中央区勝どき2丁目地区

実施内容 詳細設計、埋設物調査

- ・中央区日本橋堀留町2丁目3番先～日本橋久松町13番先

実施内容 予備設計

- ・中央区日本橋本石町4丁目・日本橋室町4丁目地区

実施内容 引込・連系管路設計

- ・中央区日本橋本町2丁目3番先～5番先

実施内容 引込・連系管路設計

(7) 小田原橋の撤去

[決算額 80,290千円]

道路の平坦化により、安全で円滑な交通環境を確保するため、道路下に残存する小田原橋の撤去工事を行った。

所在地 中央区築地4丁目14番先～築地6丁目27番先

(8) 人にやさしい歩行環境の整備 [決算額 108,416千円]

高齢者や障害者を含むすべての人が、安全で快適に利用できるように、歩道拡幅やバリアフリー整備を行うとともに街路照明や街路樹等の整備を行った。

整備路線

ア 中央区京橋2丁目13番先～17番先

整備内容	歩道拡幅および平坦化	整備延長	190m
街路照明整備（デザイン灯）	6基	高木植栽（イロハモミジ）	14本

イ 中央区銀座1丁目9番先～10番先

整備内容	歩道拡幅および平坦化	整備延長	150m
街路照明整備（デザイン灯）	5基		

ウ 中央区日本橋本町1丁目5番先～日本橋本町2丁目4番先

整備内容	歩道拡幅および平坦化	整備延長	110m
街路照明整備（デザイン灯）	4基		
高木植栽（ソメイヨシノ）	12本		
低木植栽（ベニバナシャリンバイ）	724株		

(9) 基幹的交通システム導入に関する調査 [決算額 19,971千円]

基幹的交通システムの導入に向けて、将来交通量配分や周辺交通への影響、荷捌き対策等について詳細な検討を行うとともに、近隣区、道路管理者、交通管理者、地元等関係者との協議を行った。

検討内容

- ・周辺交通への影響検討
- ・荷捌きの影響検討
- ・経営採算に関する検討
- ・整備効果の検討
- ・運行事業者の選定に係る募集要件等の検討

\* 防災・危機管理

(1) 地域防災フェア [決算額 26,785千円]

地域防災力の向上と区民への防災拠点の周知を図るため、災害時に避難所となる区内各防災拠点において、防災用品の割引販売や緊急告知ラジオの有償頒布、防災・防犯に関する各種相談等を行う地域防災フェアを実施した。

実施期間	平成25年6月2日～8月28日
実施会場	区内各防災拠点、中央区役所、日本橋特別出張所・月島特別出張所
簡易トイレの割引販売	8,248個
家具類転倒防止器具の割引販売	3,503個
緊急告知ラジオの有償頒布	713台
各種相談	378件

(2) 防災拠点運営委員会への支援 [決算額 12,837千円]

災害時の円滑な防災拠点の運営や、平常時の防災対策を推進するため「防災拠点運営委員会」(21委員会)の活動を支援した。

運営支援

- ・委員会開催(21委員会) 85回
- ・防災拠点活動マニュアルの更新  
7拠点(城東小学校、泰明小学校、銀座中学校、常盤小学校、有馬小学校、  
佃島小学校・佃中学校、月島第一小学校)
- ・住民向け防災拠点からのお知らせの作成・配布(21委員会)
- ・防災拠点運営委員会連絡会議の開催 1回

(3) 防災拠点運営委員会訓練 [決算額 6,846千円]

防災拠点運営委員会が自ら企画して実施する防災訓練を支援した。

実施場所	各防災拠点(21委員会)
参加者数	1,728人
主な訓練内容	避難所開設・運営訓練、初期消火・放水訓練、資器材操作訓練、 AED・応急救護訓練、起震車による地震体験等

(4) 防災拠点備蓄品の整備 [決算額 20,578千円]

東日本大震災の教訓や防災拠点における避難所開設・運営訓練の経験を参考に、資器材の新規購入や充実を行った。

ア 新規購入

- ・ 車載用給水タンク 6台 (備蓄倉庫)
- ・ 給水用スタンドパイプ 23組 (防災拠点)
- ・ 簡易エアマット 13,000枚 (防災拠点)
- ・ 小児用歯ブラシ 3,500本 (備蓄倉庫)
- ・ 小児用歯磨き粉 3,100個 (備蓄倉庫)

イ 充実

- ・ フォーク・スプーン・箸セット 3,000組 (備蓄倉庫)
- ・ 簡易トイレ用便袋 35,200袋 (防災拠点)

(5) マンホールトイレの設置 [決算額 3,954千円]

東京都が平成24年4月に発表した首都直下地震等の新たな被害想定において避難者数が増加したことを受け、副拠点におけるトイレ機能の充実を図るため、日本橋区民センター敷地内にマンホールトイレ (5カ所) を設置した。

(6) ポケット版防災パンフレットの配布 [決算額 3,438千円]

家庭における防災対策や地域コミュニティ活動の重要性をわかりやすく紹介したパンフレット「わが家わがまちの地震防災」のポケット版を作成し、全世帯へ配布した。

- 配布窓口 防災危機管理センター、日本橋特別出張所、月島特別出張所
- 印刷部数 100,000部

(7) 安全・安心おまかせ出前相談と住まいの防犯対策助成 [決算額 99千円]

個人の住まいに防犯アドバイザーを派遣し、防犯に関する相談を受け、助言・指導を行った。また、区民が防犯アドバイザーのアドバイスに沿って、住居の玄関・窓などに防犯対策を行った場合に、その費用の1/2 (上限額1万円) を助成した。

- 防犯アドバイザー派遣件数 6件
- 防犯対策助成件数 2件

(8) 災害時要援護者支援体制マニュアルの整備 [決算額 2,754千円]

災害時における要援護者支援を推進するため、平成24年度に作成した災害時要援護者支援体制マニュアルについて、モデル地区等における支援体制構築の取組を通じて検証・整備を行った。

(9) 在宅の人工呼吸器利用者に対する発電機の給付 [決算額 626千円]

災害時要援護者の中で、人工呼吸器による医療的ケアが欠かせない在宅受療者で非常時用の自家発電機を所有していない人のうち、自家発電機が設置可能な状況にある人に対し、同発電機を給付した。

給付台数 4台

(10) 高層住宅防災対策 [決算額 5,261千円]

ア 高層住宅防災対策

高層住宅ごとの設備や居住者の状況などを調査し、大地震によりライフラインやエレベーターが停止した際に活用する震災時活動マニュアルの作成を支援した（3棟）。

イ マンション管理組合等防災対策支援

区内マンションの管理組合等が、防災対策を進めていく上での問題点や解決策を学べる防災講習会を開催した。また、マンションの登録制度を導入し、希望するマンションに防災アドバイザーの派遣、防災情報の提供を行った。

・講習会

実施回数 4回

参加者数 延98人（57棟）

・防災アドバイザー派遣

派遣回数 27回（12棟）

(11) 帰宅困難者支援施設運営協議会への支援 [決算額 9,038千円]

災害時において帰宅困難者一時待機施設に来街者等の帰宅困難者を受け入れるため、民間事業者が主体となって運営にあたる「中央区帰宅困難者支援施設運営協議会」（平成24年10月23日設立）の運営支援を行っている。

平成25年度は事業所の本社ビルをモデル施設として位置づけ、中央区総合防災訓練と一体で訓練を実施することにより、施設運営計画書と帰宅困難者受入マニュアルの検証・改訂を行った。

幹事会の開催	10回
分科会の開催	3回
訓練ワーキングの開催	3回
帰宅困難者の受入訓練の開催	1回
帰宅困難者支援施設運営協議会総会の開催	1回

(12) 地域の防犯対策への支援 [決算額 24,469千円]

ア 自主的なパトロール活動への支援

自主的に防犯のためのパトロールまたは地域見守り活動を実施する団体の支援を目的として、当該活動に必要なパトロール用具等の物品（上限額10万円）を給付した。

給付件数 1件

イ 共同住宅等生活安全（防犯）アドバイザーの派遣と防犯設備整備費助成

町会・自治会、商店会、マンション管理組合等に防犯アドバイザーを派遣し、周辺環境の説明や防犯に関する相談を受け、助言・指導を行った。また、防犯アドバイザーのアドバイスに沿って、防犯設備を整備した場合に、町会・自治会にはその費用の2/3（上限額200万円）を、商店会（ただし、町会・自治会と協力して実施した場合に限る。）にはその費用の2/3（上限額600万円）を、マンション管理組合等にはその費用の1/2（上限額50万円）を助成した。

防犯アドバイザー派遣件数 15件

防犯設備整備費助成件数 22件

(13) 災害時対応型公衆便所の整備 [決算額 25,778千円]

公衆便所を改修するとともに、地震等によりライフラインが停止した場合でも利用可能な地下ピット式の構造に整備した。

霊岸橋際公衆便所

所在地 中央区新川1丁目3番1号

完 成 平成26年3月

江戸桜通り地下公衆便所（再開発による整備）

所在地 中央区日本橋室町1丁目5番7号

完 成 平成26年1月

(14) 帰宅困難者対策条例に基づく備蓄品の整備 [決算額 31,792千円]

平成25年4月1日から東京都帰宅困難者対策条例が施行されたことに伴い、本区では3カ年で備蓄品を整備することとし、平成25年度は区の業務従事者や、学校、保育所など子育て施設の児童等および施設来所者用に食料や飲料水、毛布、簡易トイレなどを備蓄した。

(15) 住宅・建築物の耐震化助成 [決算額 1,052,936千円]

昭和56年の建築基準法改正以前の建築物の耐震性を向上するため、住宅および業務商業建築物等の耐震改修等費用の一部または全額を助成した。また、災害時における物資輸送路等を確保するため、緊急輸送道路沿道等の建築物についても耐震改修等費用の一部または全額を助成した。

さらに、一般社団法人東京都建築士事務所協会中央支部・公益社団法人東京中小建築業協会中央支部・特定非営利活動法人地域の防災と町づくりを研究する会と区で運営する耐震促進協議会により、建築物の耐震性総点検や相談窓口の設置など耐震化を促進していくための活動を行っている。

ア 民間建築物の耐震改修等に要する費用の助成

・木造建築物

住宅	耐震診断・補強計画	53件 (12,682千円)
	耐震補強工事	27件 (88,110千円)
	簡易補強工事	21件 (30,929千円)
業務商業建築物	耐震診断・補強計画	3件 (373千円)

・木造以外の建築物

住宅	耐震診断	3件 (1,500千円)
業務商業建築物	耐震診断	6件 (3,000千円)
住宅	耐震補強工事	1件 (3,300千円)
賃貸マンション	耐震補強工事	1件 (12,863千円)

・緊急輸送道路沿道等の建築物（木造以外の建築物）

分譲マンション	耐震診断	5件 (16,601千円)
業務商業建築物	耐震診断	5件 (5,000千円)
分譲マンション	補強設計	1件 (1,918千円)

・特定緊急輸送道路沿道の建築物

	耐震診断	60件 (219,252千円)
	補強設計	10件 (14,773千円)
	耐震補強工事	12件 (363,663千円)

除却	2件（35,381千円）
建替え	8件（228,138千円）

## イ 耐震促進協議会

### 活動内容

外観目視による住宅等の建築物の耐震性総点検

耐震化相談窓口の開設

第1土曜日 月島特別出張所

第3土曜日 日本橋特別出張所

耐震化に関するセミナーの開催

開催回数 2回

参加者数 延78名

## \* 地域整備

### (1) 名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および日本橋再生に向けたまちづくり

[決算額 7,964千円]

日本橋川再生の実現に向け、重要な都市計画課題である首都高速道路の撤去実現や東京駅前地区をはじめとする周辺地域での基盤整備との連携を前提としたまちづくりを進めていくため、日本橋川沿いに位置する日本橋一丁目地区などモデル地区におけるまちづくり検討や事業成立性の検証を継続的に行うとともに、これらのまちづくりが一体的に進められていくよう取り組んだ。

また、調査対象区域である日本橋・東京駅前地区が、平成23年度に国際戦略総合特別区域（アジアヘッドクォーター特区）や特定都市再生緊急整備地域の指定を受けるなど、東京の国際競争力強化につながるまちづくりが一層求められていることを受け、東京駅前地区におけるバスターミナル機能の導入など、国際競争力の強化に資する都市インフラ機能の導入に向けた検討を行った。

日本橋再生協議会 開催回数 2回

(2) まちづくり支援事業（コミュニティ・ファンド） [決算額 538,954千円]

中央区市街地開発事業指導要綱に基づき、大規模開発等の事業者の協力による開発協力を原資として、事業区域内の区民の居住継続や地域環境整備活動等の援助を行うことにより、地域の個性を生かしたまちづくりの実現と定住人口の維持・回復を推進した。

支援事業および援助額

・居住継続援助事業	503,773千円
・地域環境整備活動等援助事業	2,874千円
・特定地域環境整備活動等援助事業	32,307千円

(3) 築地場外市場地区先行営業施設の整備・開設準備 [決算額 7,958千円]

平成27年度に予定されている豊洲新市場の完成と、その後の築地市場移転を踏まえ、市場移転後も食文化の拠点である「築地」の活気ににぎわいを継承し発展させるため、小田原橋臨時駐車場跡地等に整備する生鮮食料品の店舗施設について、建築確認申請手続きを完了した（平成26年8月着工）。

また、開設準備については、店舗施設の入居希望者を公募し、123事業者から181区画の応募があり、書類審査、面接審査を行った。

(4) 築地場外市場「食」に関する情報拠点運営費助成 [決算額 8,000千円]

築地市場移転後のまちづくりに向けて開設された情報拠点「ぷらっと築地」の運営に要する経費の一部を助成し、本区において長年蓄積されてきた「食」に関する情報を活用して区内飲食業等の活性化を図った。

助成団体および助成額

特定非営利活動法人 築地食のまちづくり協議会	8,000千円
------------------------	---------

(5) 都市再生土地地区画整理事業助成 [決算額 595,000千円]

公共施設の整備改善および宅地利用の増進を図り、合理的かつ健全な土地利用を促進することにより、防災性の向上、土地の有効高度利用等を推進するため、市街地再開発事業と一体的に土地地区画整理事業を行う施行者に事業費の一部を助成した。

助成地区および助成額

湊二丁目東地区	595,000千円
---------	-----------

(6) 市街地再開発事業助成

[決算額 4,061,480千円]

市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新および住宅・住環境の改善を図り、良好な定住型住宅の供給を促進するため、市街地再開発事業者に対し、事業費の一部を助成した。

助成地区および助成額

・月島一丁目3、4、5番地区	1,497,400千円
・京橋二丁目西地区	1,234,920千円
・勝どき五丁目地区	181,960千円
・湊二丁目東地区	236,800千円
・銀座六丁目10地区	818,000千円
・月島一丁目西仲通り地区	92,400千円

### 3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして

#### ○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり

##### \* 商店街振興

#### (1) 観光商業まつり [決算額 48,357千円]

都心の代表的な観光商業地区である本区の特性を生かし、区内全商業者が一体となって観光客の誘致を促進するとともに、商業意欲の高揚を図るための各種イベントを実施した。

実施期間 平成25年10月1日～11月6日

#### (2) 商店街支援事業補助 [決算額 279,217千円]

##### ア イベント事業

商店街が自らの宣伝等を目的に実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助件数 36件

##### イ 活性化事業

商店街が自ら行う施設整備事業や、顧客利便性の向上等を目的として実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

##### 補助対象事業

- ・無線スピーカー設置事業 1 商店街
- ・街路灯建替事業 1 商店街

##### ウ ビジョン実現事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、自ら作成した振興計画に基づき行う事業に対し、その費用の一部を補助した。

##### 補助対象事業

- ・多目的室およびホームページ等整備事業 1 商店街
- ・街路灯建替事業 1 商店街

##### エ 地域協力事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、町会・自治会、特定非営利活動法人等と協力して実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

##### 補助対象事業

- ・地域協力イベント事業 2 件
- ・地域協力活性化事業（フリーWi-Fi整備事業など） 2 商店街

(3) 共通買物券の発行 [決算額 579,802千円]

区内の消費を一層刺激して地域経済の活性化を図るため、共通買物券を発行し、一冊1万1千円分（5百円券22枚つづり）を1万円で販売した。

販売日 平成25年6月16日

販売場所 区役所、日本橋区民センター、月島区民センター、勝どき区民館、  
晴海区民館

発行総額 5億5千万円

\* 産業振興

(1) 中小企業振興補助 [決算額 6,021千円]

区内中小企業の振興を図るため、ホームページの新規作成・変更に係る経費や、販路拡大のための展示会出展に係る経費の一部を補助した。

ア ホームページ作成費補助（限度額5万円）

交付件数 35件 1,689千円

イ 展示会等出展費補助（限度額15万円）

交付件数 31件 4,332千円

(2) 日本橋問屋街活性化事業支援 [決算額 3,787千円]

問屋街活性化委員会が行ってきた活性化事業の実績、成果等を踏まえ、情報発信に関する事業、広報事業、文化服装学院との産学連携による人材育成などの活性化事業に対する支援を行い、日本橋問屋街のさらなる再生と活性化を図った。

主な事業内容

- ・ 中国人バイヤーの招致
- ・ 秘書サービス付き中国語版ホームページの作成
- ・ 講演会・オープンカレッジ等の開催
- ・ 新聞製作、メディアとの連携強化
- ・ ホームページでのイベント案内・売出案内等各種情報の更新や問屋街説明文の英語版および中国語版の掲載
- ・ 問屋街商品を使ったスタイリング提案、問屋街研修など文化服装学院との産学連携事業の実施

## (3) 商工業融資

[決算額 2,839,412千円]

区内中小企業の経営の安定と近代化、合理化を促進し、地域商工業のより一層の振興を図るため、次のとおり各種資金の融資あっ旋、信用保証料補助および利子補給を実施した。

また、都制度融資（経営セーフ・災害緊急・円高セーフ）を利用した小規模企業者に対して、信用保証料の一部を補助（限度額30万円）するとともに、商工会議所の推薦により、日本政策金融公庫が無担保・無保証人で融資する経営改善資金融資（マル経融資）の利子支払額の一部を補助した。

## ア 貸付件数および貸付額

制 度 名	件 数	金額（千円）
運転資金融資	231	2,677,500
設備資金融資	25	329,800
小規模企業資金融資	65	492,110
年末特別資金融資	7	19,200
小口資金融資	258	1,113,400
創造支援資金融資	40	200,450
店舗・工場等小規模再開発資金融資	0	0
災害復旧資金融資	0	0
経営改善支援資金融資	323	3,164,100
団体資金融資	0	0
小規模企業特例緊急運転資金融資	10	30,000
区融資一本化資金融資	10	97,098
小口緊急景気対策特別資金融資	41	194,900
緊急景気対策特別資金融資	165	1,979,700
計	1,175	10,298,258

## イ 信用保証料補助

区制度融資分 1,177件 223,160千円

都制度融資分（経営セーフ・災害緊急・円高セーフ）

20件 3,766千円

ウ 利子補給 37,724件 894,569千円

エ 経営改善資金融資利子補助 576件 12,072千円

(4) 若年者合同就職面接会 [決算額 243千円]

若年者と求人を希望する企業との合同就職面接会を開催し、若年者の就労の機会を確保するとともに、中小企業の人材確保の場を提供した。

実施日 平成25年12月11日

面接者数 延139人

求人数 31人

参加企業数 15社

採用者数 7人

(5) 職業相談・就職ミニ面接会 [決算額 357千円]

ハローワーク飯田橋との連携により、職業相談および就職ミニ面接会を開催し、区民等の就労支援と雇用の安定化を図った。

実施日 毎月第2・4火曜日

面接者数 延78人

参加企業数 40社

職業相談件数 55件

インターネット求人検索利用者数 20人

採用者数 10人

\* 観光

(1) 東京湾大華火祭 [決算額 276,588千円]

区民にうるおいとやすらぎの場を提供することにより、ふるさと意識を高めるとともに、観光商業の発展に資するため、花火大会を実施した。

実施日 平成25年8月10日

打上場所 晴海埠頭沖海上および晴海ふ頭公園

観覧場所 晴海運動場ほか

観客数 約68万人

(2) まち歩きツアー舟運コース [決算額 31千円]

中央区観光協会と江東区観光協会の共催で「江東区・中央区 観光舟運まち歩きツアー」を実施し、新たな舟運ルートの開発を行った。また、ガイドのスキルアップを図るため、2区の観光協会が合同で事前にガイド研修を実施した。

ツアー実施日 平成26年3月20日・22日 各日2ツアー（計4ツアー）

ツアー参加者数 128名

(3) まち歩き観光地図アプリ「中央区まち歩きマップ」 [決算額 2,936千円]

スマートフォンやタブレット端末用の観光地図アプリ「中央区まち歩きマップ」を中央区観光協会が開発し、無料配信を開始した。GPS機能と連動させることで、現在の地図と古地図との対比を楽しめるほか、おすすめルートを紹介するなど、区内各地の周遊に活用できる機能を盛り込むとともに、訪日外国人の利便性向上を図るため、英語版も作成した。

配信開始時期 Android版 平成25年12月

iOS版 平成26年1月

(4) 観光拠点の整備 [決算額 18,381千円]

京橋二丁目西地区の再開発ビル低層部に整備する予定の中央区観光拠点（仮称）を、本区の魅力を創造・発信する施設として活用するため、事業条件や業務内容について整理するとともに、運営手法の立案や民間事業者の意向調査等を行った。

## ○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり

### \* 学校教育

#### (1) 学習意欲の向上と学習習慣の定着 [決算額 10,873千円]

小学校第4・6学年と中学校第1・3学年において実施する本区独自の「学習力サポートテスト」の結果を分析するとともに、個人票を作成・配付し、児童・生徒の学習意欲と学力の向上を図った。

なお、小学校第5学年と中学校第2学年については、東京都が実施する学力調査を活用した。

調査実施日 平成25年5月7日

#### (2) 小学校の学力向上対策 [決算額 62,785千円]

基礎的学力の積み重ねが特に重視される算数について、非常勤講師を配置して、習熟度別指導・個別指導を実施するとともに、より一層の理科授業の充実および活性化を図るため、実験や観察等における教員の支援を行う理科支援員を配置した。

また、これまで土曜日を中心に行っていた補習学習を発展させ、放課後や土曜日、夏季休業期間中など、各学校の実情に応じた効率的な補習を行い、基礎的・基本的な学習内容の定着を図った。

- ・非常勤講師（算数）の配置 小学校16校 各1名配置
- ・理科支援員の配置 小学校16校の第5・6学年の全学級  
(1学級あたり150時間)

#### (3) 中学校の学力向上対策 [決算額 73,736千円]

国語・数学・英語の3教科における習熟度別指導・個別指導等の充実を図るため、中学校の全学級で少人数授業を実施するとともに、各校の実情に応じて、少人数指導教科の拡大（理科・社会）を行った。

また、夏季休業期間中などに教育センター等を利用して習熟度別補習講座を実施し、生徒の学力に応じたきめ細やかな学習支援を行うとともに、教育センターを利用した土曜補習講座を年7回実施した。

- ・非常勤講師の配置 24人（国語・数学・英語・理科・社会 各校6人×4校）
- ・夏季補習講座（コース別）
  - 参加生徒数 219人（第1学年98人、第2学年50人、第3学年71人）
  - 参加率 約16.4%（参加生徒数／在籍生徒数）
- ・土曜補習講座
  - 実施回数 I期（4月）2回、II期（9月）2回、III期（12月）3回
  - 参加生徒数 延330人

(4) 英語教育の推進 [決算額 72,954千円]

国際化が進展する中、小学校の英語活動および中学校の英語の指導について、幼少期から英語に親しむことで、英語学習への関心や意欲を持たせるため、小・中学校全校にALT（外国語指導補助講師）を配置し、コミュニケーション能力の向上、中学校英語への効果的な接続、国際理解教育の視点に立った授業内容の展開を図った。

- ・ 小学校 第1・2学年 年間11時間（月1時間）  
第3～6学年 年間35時間（週1時間）
- ・ 中学校 各校年間190日

(5) 健康教育の推進 [決算額 52,727千円]

ア 小学校の体育指導

全小学校に体育指導補助員を配置し、児童の関心・意欲や技能に合った実技指導の補助など体育指導を充実するとともに、1校1運動（マイスクールスポーツ）への継続的な取組を行った。

イ 中学校の体育指導

安全で効果的な指導により生徒の体力向上を図るため、「武道、ダンス」や運動種目ごとの専門的スキルや能力をもつ種目別サポーターを配置し、体育指導の充実を図った。

ウ 小・中学校の食育指導

小・中学校全校において、大学講師、プロの料理人等「食」の専門家による授業を実施した。

また、親子クッキングスクールでの学校給食の献立紹介や食育に関する啓発資料の展示等を通じて、バランスの良い食事、生活習慣等の普及啓発を図った。

エ 中学校の部活動指導

部活動を安定的に実施するため、専門的な知識・技術および指導能力を有する指導員を外部から募り、部活動の活性化を図った。

(6) 囲碁授業の実施 [決算額 550千円]

小学校の総合的な学習の時間を活用して、日本棋院から派遣されたプロ棋士の指導の下、集中力や思考力、判断力の向上に効果がある囲碁授業を実施した。

- ・ 実施校 城東小学校、泰明小学校、中央小学校、明石小学校、明正小学校、常盤小学校、  
阪本小学校の7校
- ・ 時間数 年間5～10時間

(7) 特別支援教育への対応

[決算額 158,265千円]

ア 特別支援教育専門員の配置

特別支援教育専門員を1名増員し、相談体制の強化を図った。また、適切な就学相談を実施するとともに、就学後においても継続的にアプローチし、個々の障害に応じた教育的支援を行った。

- ・特別支援教育専門員 3名 相談件数 43件

イ 特別支援教育アドバイザーの派遣

小・中学校等に医師や臨床心理士等を派遣し、心身に障害のある児童・生徒についての専門的な指導・助言等を教員に対して行った。

- ・派遣回数 小・中学校 各校年3回 宇佐美学園 年3回 幼稚園 各園年3回  
特別支援学級・通級指導学級 各学級年3回

ウ 特別支援学級の運営

心身に障害のある児童・生徒に対し、特別支援学級を設け、特別支援教育補佐員を配置するなど、一人ひとりの能力に応じた適切な教育を行った。

京橋築地小学校では通級指導学級（情緒障害等）を開設するための準備を行った。

エ 特別支援教育コーディネーター補佐員の試行配置

教員による特別支援教育コーディネーターを補佐する特別支援教育コーディネーター補佐員を配置し、スクールカウンセラー、学習指導補助員等との連携づくりのコーディネーターや、子どもの能力や可能性を伸長する手立ての検討や支援を行った。

オ 学習指導補助員の配置

通級指導学級に通う児童・生徒が原籍校の通常学級で学習する場合や、教育的支援を必要とする児童・生徒が通常学級に在籍する場合において、きめ細やかな支援と学習指導を円滑にすることを目的として、学習指導補助員を配置した。

カ 介助員の配置

重い障害のある児童・生徒が在籍する学級に対し、介助員を配置した。

(8) 心を育てる教育の推進

[決算額 16,310千円]

いじめや不登校をはじめとする児童・生徒の悩みに寄り添い、向き合っていくために、命の尊さや友情といった心に訴える授業を全小・中学校で実施した。

また、不登校児童・生徒にさまざまな角度からアプローチするため、適応教室「わくわく21」に適応教室専門員（教職経験者）を配置し学校等と連携を深め、不登校の児童・生徒の生活や学習状況を詳細に把握するとともに、自立に向けた支援の充実を図った。

- ・命と心の授業（外部講師の講演等） 小学校 16校・中学校 4校
- ・適応教室専門員の配置 4名

(9) 教育相談体制の強化 [決算額 61,077千円]

教育センターでの来所相談や電話相談のほか、小学校、幼稚園および保育園を訪問し、教育全般に対する相談業務を担う専任教育相談員(教職経験者、臨床心理士等)を2名増員した。

さらに、平成25年度から、いじめ、不登校、暴力行為など、生活指導上の課題に対応するため、関係機関との連絡・調整を図るとともに、専門的な知識や技術を用いて、問題を抱える生徒や家庭を支援するスクールソーシャルワーカーを中学校全校に派遣し、教育相談体制の強化を図った。

- ・専任教育相談員 16名 相談件数 261件
- ・スクールソーシャルワーカー派遣回数 中学校4校 年158回

(10) 小学校・幼稚園の改築・増築 [決算額 1,167,835千円]

学校施設の老朽化や児童数の増加への対応とともに施設機能の更新を行い、新しい時代に即した教育環境の整備や良好な学習空間の確保を図るため、小学校・幼稚園の整備を進めた。

ア 明正小学校・明正幼稚園の改築

整備経過等	平成24年度	既存校・園舎解体	建設工事
	平成25年度	建設工事	
	平成26年9月	新校・園舎開設	

イ 豊海小学校・豊海幼稚園の改築

整備経過等	基本設計・実施設計
-------	-----------

ウ 久松小学校の増築

整備経過等	基本設計・実施設計
-------	-----------

エ 月島第二小学校の増築

整備経過等	基本設計・実施設計
-------	-----------

(11) スクールバスの運行 [決算額 27,637千円]

特認校制度の実施に伴い、就学人口の多い月島地域から比較的離れている小規模校である城東小学校、常盤小学校、阪本小学校への交通手段として、スクールバスを登下校時に運行した。

- ・運行便数 登校時1便 下校時2便
- ・乗降場所 月島地域で指定する4カ所および各校の正門付近
- ・利用者数 89人

(12) 中央区PTA連合会創立60周年記念事業助成

[決算額 1,112千円]

中央区PTA連合会の創立60周年記念事業に対し助成を行った。

ア 式典の開催

開催日 平成25年9月7日

会場 ロイヤルパークホテル

参加者数 189人

イ 記念誌の発行 600部

\* 生涯学習・スポーツ

(1) スポーツ祭東京2013デモスポ行事の運営

[決算額 1,527千円]

スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会、第13回全国障害者スポーツ大会）の一環として、デモスポ行事（デモンストレーションとしてのスポーツ行事）を総合スポーツセンターで3種目実施し、幅広いスポーツの普及・振興を図った。

実施種目

ボールルームダンス 平成25年9月1日実施、898人参加

キンボール 平成25年9月29日実施、754人参加

武術太極拳 平成25年10月6日実施、2,098人参加

## ○ 文化の香る交流のまちづくり

### \* コミュニティ

#### (1) 大江戸まつり盆おどり大会 [決算額 40,410千円]

区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、江戸のまちにゆかりの深い盆踊りを中心とした「中央区大江戸まつり盆おどり大会」を実施した。

実施日 平成25年8月23日・24日  
実施場所 浜町公園  
実施内容 盆おどり大会、大江戸縁日コーナー、友好・交流都市コーナー等  
参加者数 延78,000人

#### (2) 協働提案事業 [決算額 1,590千円]

社会貢献活動団体（NPO法人・ボランティア団体など）と区が力を合わせて公共的な課題解決に取り組み、よりきめ細かな行政サービスを提供するため、平成24年度に協働提案事業を公募し、審査の上採択された2事業について平成25年度に実施した。

##### ア “楽しみ”ながら“しっかり”学べる防災プログラム イザ！カエルキャラバン！

マンションの防災訓練の活性化を図るとともに、マンションでのコミュニティ形成と組織づくりの契機となる居住者主体の新たなマンション向け防災訓練を実施した。

実施団体 特定非営利活動法人 プラス・アーツ  
実施日 平成26年2月23日  
実施場所 ザ・クレストタワー（中央区佃2丁目11番6号）  
参加者数 188人（大人118人・子ども70人）

##### イ 「良書読み合い・語る会」読解力・表現力向上委員会

朗読を通して子どもたちに本を読むことの楽しさや本の大切さを感じてもらうとともに、子どもたちの「読解力・表現力」を高めるため、参加体験型の朗読講座を実施した。

実施団体 特定非営利活動法人 国際朗読ことば協会  
実施日 平成25年7月27日・8月24日  
実施場所 区役所8階大会議室  
参加者数 延77名

(3) 区民還暦祝い事業 [決算額 6,692千円]

還暦を迎える区民の人生の節目を祝福するとともに、今後の人生をより充実させるための学びへの意識高揚や、これまで培った知識や経験・能力を地域社会で生かしたいという行動の契機とすることを目的に実施した。

ア 還暦祝い状・祝い品（映画ペア券）の贈呈

対 象 平成25年度中に60歳を迎えた区民  
発送時期 平成25年9月

イ 還暦のつどいの実施

開 催 日 平成25年11月23日  
対 象 参加を希望する還暦対象者  
会 場 銀座ブロッサム（中央会館）ホール  
内 容 シニア世代の活動紹介、コンサート

\*文化振興

(1) 中央区まるごとミュージアム [決算額 32,685千円]

文化・芸術の秋の一日に、民間の文化事業を含む区内のさまざまな文化的な魅力を区民等に体験してもらうための文化イベントを中央区文化・国際交流振興協会との共催で実施した。

中央区というまち全体が、名所・旧跡、画廊・美術館、水辺など数々の魅力にあふれるミュージアムであることから、区民等が無料で区内を巡回するバスや船、さらには江戸バスに乗り、回遊しながら本区の文化的な魅力を大いに楽しみ享受できる一日とした。

開 催 日 平成25年11月4日  
場 所 中央区全域  
参加者数 延55,000人（江戸バス・借上バスの乗車人数5,708人、  
船の乗船人数3,522人）

(2) まちかど展示館 [決算額 15,971千円]

地域文化の継承と区民の文化意識の向上を図るとともに、地域への誇りや愛着心をはぐくむため、区民等が地域にある文化資源を発掘し、展示・公開を行う施設を新たに整備する場合に、その整備等に要する費用を助成した。

認定施設数 19施設  
助成件数 15件（建設整備費補助 1件、改装整備費補助 2件、  
設計費補助 1件、運営管理費補助 11件）

(3) 文化事業助成 [決算額 5,548千円]

本区にふさわしい文化の創造や区民および民間事業者等による文化活動の活性化を図るため、文化振興基金を活用して文化事業に対する助成を行った。

また、平成26年度の助成対象事業について選考を行った。

助成対象事業

- ・ 広く区民等に公開される、原則として他で発表されていない新たな取組であるもの
- ・ 区の魅力を発信する文化事業で区内で公開されるもの
- ・ 文化事業に携わるボランティア、文化事業を主な目的とするNPOなど文化事業を行う個人または団体を区内で育成するもの

平成25年度助成事業数および助成額 4事業 4,970千円

平成26年度助成予定事業数 2事業 (応募事業数15件)

\* 平和

(1) 平和の都市(まち)の楽しい集い [決算額 9,210千円]

本区は、昭和63年3月15日に平和都市であることを宣言した。

この宣言の趣旨を普及させるとともに、平和の大切さを区民に訴えるため「平和の都市(まち)の楽しい集い」を開催した。

開催日 平成26年3月15日

場所 銀座ブロッサム(中央会館)ホール

内容 ポピュラーコンサート

「ふるさとコンサート ～春夏秋冬こころのうた～」

出演者 森 昌子

前売入場券発売数 880枚

当日入場者数 850人

(2) 平和展 [決算額 2,393千円]

本区の空襲被害、戦中・戦後の市民生活や子どもの様子など、当時を物語る写真や戦災資料を公開展示することにより、区民に平和の大切さ、尊さを訴え、平和を見つめ直すきっかけづくりとして、平和展を開催した。

また、次代を担う児童・生徒に戦争の悲惨さ、平和の大切さを考えてもらうきっかけづくりとするため、区立小・中学校巡回平和展を実施した。

ア 平和展

期 間 平成26年2月26日～3月12日の開庁日  
場 所 区役所1階 ロビー  
日本橋区民センター1階 エントランスホール  
月島区民センター1階 コミュニティサロン  
展示内容 写真パネル・物品資料の展示、ビデオ上映  
来場者数 約21,000人

イ 区立小・中学校巡回平和展

対 象 校 小学校16校（明正小学校は改築工事のため中央小学校と同時開催）  
中学校4校 計20校  
期 間 平成25年9月26日～平成26年2月5日  
1校あたり2週間の展示  
内 容 写真パネルの展示、平和絵本・平和クイズの展示・閲覧、平和関連映像  
DVDの貸出

## 4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進

### ○ 新たな課題への対応

#### (1) 区公式ホームページのリニューアル [決算額 20,322千円]

平成25年12月、ウェブアクセシビリティに配慮し、高齢者や障害のある方を含む誰もが利用しやすいホームページとなるよう全面リニューアルを行った。

#### (2) 「区のおしらせ 中央」および「区議会だより」のコンビニエンスストア・地下鉄駅での配布 [決算額 465千円]

「区のおしらせ 中央」の入手機会の拡大を図るため、新たに地下鉄駅（東京メトロ小伝馬町・水天宮前・八丁堀駅）で広報紙の配布を開始した。

#### (3) 保健医療福祉計画の改定 [決算額 15,017千円]

平成26年度における中央区保健医療福祉計画の改定に向け、現計画の評価を行うとともに、各種ニーズ調査を実施した。

##### 実施調査

- ・中央区子ども・子育て支援新制度における利用希望把握調査
- ・中央区ひとり親家庭実態調査
- ・中央区障害者（児）実態調査
- ・中央区高齢者の生活等実態調査及び介護サービス利用状況等調査

### ○ 緊急な課題への対応

#### (1) 緊急雇用創出事業

##### ① 未就職学卒者等の就労支援事業 [決算額 14,673千円]

人材派遣会社等において、未就職学卒者等に対し社会人として必要な基礎知識や技術を習得するための研修を実施するとともに、求人を希望する事業所で体験就業を行うなど、若年者の就業を支援した。

応募者数 14名

採用者数 10名

区内就業者数 7名

② 路上弁当販売の監視 [決算額 4,125千円]

行商による路上でのルールを守らない弁当販売に対し、警察署等関係機関と連携を図りながら、食品取扱状況および衛生基準等の監視を行うため、路上弁当販売監視員を配置した。

新規雇用者数	8人（従事者8人）
監視場所	20カ所（京橋地区 7カ所、日本橋地区 11カ所、月島地区 2カ所）
監視体制	週2回（2人×2班×延98日）
実施期間	平成25年4月～平成26年3月
監視件数	3,844件

③ 駅周辺等放置自転車の整理 [決算額 6,334千円]

区内12鉄道駅周辺道路および1公園の放置自転車整理業務を行った。

新規雇用者数	16人（従事者16人）
対象箇所	京橋駅、築地駅、新富町駅、宝町駅、築地市場駅、小伝馬町駅、 茅場町駅、東日本橋駅、馬喰横山駅、浜町駅、月島駅、勝どき駅、 浜町公園
整理台数	351,938台

(2) 被災地支援のためのボランティア保険料助成 [決算額 585千円]

区民や区内在勤者が被災地でのボランティア活動に従事するにあたり、中央区社会福祉協議会で扱うボランティア保険に加入する場合の保険料を全額助成した。

助成対象者	社会福祉法人中央区社会福祉協議会で加入申込の手続きをする区民および区内在勤者
助成額	1,400円（社会福祉法人東京都社会福祉協議会が保険契約者であるボランティア保険のうち「天災Cプラン」の保険料全額）
助成者数	418人

## ○ 区施設の改修

### (1) 中央会館「銀座ブロッサム」

[決算額 344,665千円]

施設の老朽化に伴い、ホール舞台設備等の改修工事を実施した。

改修内容

- ・ホール舞台設備改修
- ・機械設備改修
- ・昇降機改修
- ・防火シャッター安全装置取付等

### (2) 佃児童館・シニアセンター

[決算額 421,113千円]

施設の老朽化に伴い、建築・電気設備・機械設備の大規模改修を実施した。このうち、佃児童館については学童クラブ室・多目的スペース等のレイアウトを変更し、利便性の向上を図った。

### (3) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」等複合施設

[決算額 485,490千円]

施設の老朽化への対応とあわせ、特別養護老人ホームの定員増を図るため、大規模改修工事を実施した。

工事期間 平成24年7月～平成27年3月